

UR まど

2017 6
No.235 隔月刊



街に、ルネッサンス



UR都市機構

http://www.ur-net.go.jp/

- 団地TOPICS／気になるお店 4・5
快適団地LIFE 6
カンタン体操／暮らしの雑学／読者のひろば 7
団地イベント Pick Up!／彩りレシピ 8

編集・制作 (株)高速オフセット

つながる ひろがる 交流の輪

玉川橋 〈大阪府高槻市〉

ACCESS

- ◎ 阪急京都線「茨木市」駅から京阪バス約11分
◎ JR京都線「茨木」駅から京阪バス約20分
「玉川橋 団地」下車



ティピーおやこの広場

親子が気軽に集う場所

2006(平成18)年に玉川橋団地で産声をあげた「ティピーおやこの広場」。高槻市内の子育て情報の提供、遊びの講演会や子育て講演会、さまざまなイベントを通して子育て中の保護者や家族を応援しています。

団地内外から多くの親子が利用する広場。「外から入りやすそうに見えても、初めて来られる方にとってはハードルが高い場所かもしれません。気軽に、ふらっと立ち寄っていただける雰囲気づくりを大事にしています」と話すのは、広場を運営するNPO法人高槻子育て支援ネットワークティピー理事長の石井智子さん。開設から丸10年が経過し「最近はお子さんの

発達で悩んでおられる方も増えています。この広場でしゃべるだけでも気が楽になってもらえたらうれしい。そこをきっかけに、公的な機関につないでいくこともできると思います」と話します。

アメリカインディアンが使うテント「ティピー」が名前の由来。「テントの布をつなぐ器具の名前だと思い『人と人をつなぐ』という思いを込めたのですが、よく調べるとテント自体の名前だったんです」と笑う石井さん。テントのように“気軽に集う場所”として、今では団地に欠かせない存在になっています。



いつでも、いつ帰っても自由。12時からは昼食タイムとして、お昼ごはんをみんなで楽しく食べます。

講習会「親子であそぼう」



月に1回開催される講習会。保育士の資格を持つスタッフが、音楽に合わせて体を動かすリトミックなどを教えます。

ティピーおやこの広場

参加対象：妊婦、0～3歳の子どもさんと保護者
開設日時：毎週月曜日～金曜日(10:00～16:00)
参加費：無料(講習会の材料費などで実費が必要な場合有り)

子育て経験をもとに、
親身にアドバイス

私たち自身も子育て真っ最中。この広場では小さいお子さんの子育てで悩んだり、困ったりしているお母さんの話を聞いて、一緒に考えたり、経験をもとに「私のときはこうしたよ」「そこまで思いつめなくていいよ」とアドバイスをしています。利用者のみなさんはお子さんの年齢や生活スタイルも違います。それぞれのニーズに最大限応えられるよう、スタッフ一同頑張っています。



スタッフの田淵昌子さん、阿万裕美さん、奥山茜さん(左から)

子どもも私も、
人の輪が広がりました

木下ひとみさん、織玖(りく)くん(1歳11か月)

今年から幼稚園に通い出した娘のときからお世話になっています。参加したきっかけは、子どもの人見知りが少しでも良くなればと思ったこと。広場ではさまざまな年代の子どもたちと触れ合うことができ、時間はかかりましたがだんだんと私から離れて遊ぶようになりました。私も子どもも友だちの輪が少しずつ広がっていき、今では広場に行く日を親子共々楽しみにしています。



大切な団地の風景

美団地
KANSAI

団地の新緑

美しい団地には、“こだわり”がいっぱい。歴史や伝統、四季折々の美しい風景を毎号お届けします。



桃山南



花園



紀寺

Photo: Ai Hirano

団地の美を発信しています!



@vidanchi_kansai



@vidanchikansai



vidanchi.jp/kansai

水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター TEL.06-6969-2151